

うわじま 牛鬼 うしおに



市立宇和島病院ホームページ <http://www.uwajima-mh.jp>

市立宇和島病院の理念

患者さま中心の医療を基本として

- 1、信頼される病院
- 1、思いやりのある病院
- 1、やすらぎのある病院
- 1、進化しつづける病院
- 1、地域になくてもはならない病院

をつくりまします。

市立宇和島病院の基本方針

- 1、いつでも、どんな病気にも、高度医療を提供する病院をめざします。
- 2、患者様の権利を尊重し、愛情と対話をもつてあたたかい医療を提供する病院をめざします。
- 3、快適な医療環境をととのえ、明るくうるおいのある病院をめざします。
- 4、高い技術を持ち、人間性豊かな医療人の育成につとめる病院をめざします。
- 5、医療・保健・福祉との連携を深め、地域に貢献する病院をめざします。

..... ご挨拶

市立宇和島病院 院長 梶原 伸介

当院は1910年(明治43年)に設立され、その後幾多の困難を乗り越え歴史を重ねてまいりました。新しい病院になり、色々なシステムが変更になったことで、市民の皆様は戸惑いも多かったと思われかもしれませんが、少しずつ慣れていただけたのではないのでしょうか。

当院は南予救命救急センター、がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、管理型臨床研修病院など様々な機能を持っている南予の基幹病院です。周囲の病院が医師不足、スタッフ不足で病院経営に苦慮している中、比較的多くの医療スタッフに恵まれ、急性期の診断、治療、手術を行っています。

進化しつづける病院、地域になくてもはならない病院にするため、今年度は放射線治療機械を更新することとなりました。今回更新する放射線治療機械は強度変調放射線療法といって、副作用を出さずに腫瘍のみに放射線を当てることができるようになりました。これにより放射線療法の治療成績がさらに向上するのではないかと期待しております。

昨年度導入した3.0T(テスラ)MRI、手術支援ロボットーダヴィンチ、インターネットを利用した医療連携システムは順調に稼動しております。MRIは我々医師の診断能力の向上に寄与しており、ダヴィンチは前立腺がんの手術に頻用されており、泌尿器科の医師には大変好評です。他科の手術にも保険適用になり、幅広い分野で使えるようになればと思っています。

インターネットを利用した医療連携システムは「きさいやネット」と名づけ、5月7日より運用を開始しました。患者さんの承諾の下、連携された先生方のパソコン上で、セキュリティーの保たれたネットワークを経由して当院で行われた診療行為を閲覧でき、患者さんにとっては安心感が高まるとの意見が多く好評のようです。今後は調剤薬局、介護施設等に範囲を広げ、いずれは愛媛県全体で情報の共有が出来るようになればと思っています。※「きさいやネット」の詳細については、2面をご覧ください。

以上、新しい医療機器等についてご紹介いたしました。機器だけでなく、薬を含めた医療技術は日進月歩で発展しています。南予地域での当院の役割としては常に前に向かって進み、新たな進歩を取り入れ、それをこの地域の住民の方に還元しなければならないと思っています。これらの医療機器等は非常に高価なものばかりですが、今後の南予圏域の医療を担うことを考えれば必要なことと思います。そのためにも病院としての体力は必要であるため、健全経営を行わなければなりません。医師不足、看護師不足によってこの地域の医療は険しい局面を迎えておりますが我々病院関係者は日々努力を致します。今後も当院の医療に関してご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

きさいやネット運用開始!

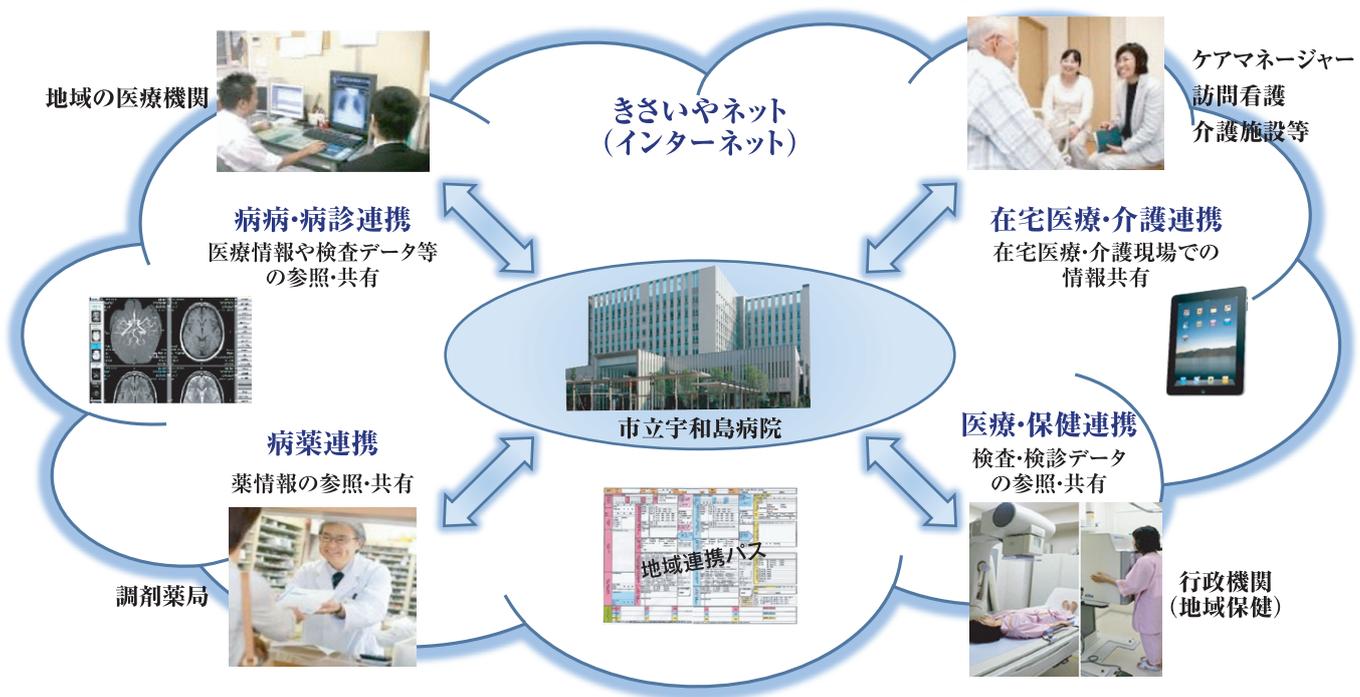
地域連携室 係長 中 一

本年5月から「きさいやネット」が本格稼働しました。「きさいやネット」とは、インターネットを介し当院と各医療機関をネットワークで結び、患者さまの同意のもと当院の診療情報を連携施設に参照してもらうものです。平成27年7月1日の時点で、2次医療圏内(宇和島市、西予市、愛南町、松野町、鬼北町)の31施設がネットワークに参加し、登録患者数はすでに365人、連携施設からのアクセス数は約1,278件に達しました。連携施設は当院の診療情報(医師の記録、処方、検査、画像データ等)を閲覧することで、治療方針や検査結果の共有が可能となるほか、投薬や検査の重複を防ぐことができるため、医療費の抑制、安全性の向上、適切な診療提供などの効果が期待できます。

ネットワークの構築にあたっては、「患者さまのカルテは患者さまのもの」という基本理念のもと、当院が独自にシステムを構築し、連携施設はインターネット環境を整備すれば無料で参加できる仕組みとすることにしました。この参加費無料化により連携施設が参加しやすくなるとともに、当院スタッフがPCのセットアップサポート及びアフターフォローを手厚く行うことで、ネットワーク利用率だけでなく当院の紹介・逆紹介率も向上させたいという狙いがありました。一方で、初期の連携先を限定したスモールスタートにもこだわりました。「きさいやネット」に関する知識や理解度は各施設によって異なるため、既に親密な関係にある施設同士から連携した方が、相互に情報共有のメリットが大きくなるだろうと判断したからです。

現在、連携施設からは「紹介・逆紹介した患者さまの診療データを迅速、詳細に把握することができ、適切な診断ができるようになった。詳細な病状説明が可能になった。」と高い評価を得ています。さらに、今後は、連携施設の拡充やシステムに双方向性を持たせることで、当院と地域との連携を深めて質の高い医療を提供していきたいと考えています。

「きさいやネット」の今後の展開



いくことが最も大切です。

糖尿病は薬だけでは治りません。主治医から言われた適切な食事、運動療法を行い、糖尿病と上手に付き合っていくことが最も大切です。

「糖尿病患者数はご存じですか?」厚生労働省が発表した「2013年国民健康・栄養調査」によると、糖尿病が強く疑われる患者さんの割合は、男性16.1%、女性9.2%であり、50歳以降に割合が増えることが分かりました。

実際に男性の6人に1人、女性の10人に1人が糖尿病患者さんです。

糖尿病は検診や診察で発見されても自覚症状が無いため放置されがちです。また、静かに合併症が進み、気がついた時には取り返しのつかないことになっていくこともあります。

糖尿病の治療薬は、注射薬(インスリン)と内服薬で、内服薬にはスルホニル尿素(SU)剤をはじめとする膵臓のβ細胞からインスリンの分泌を促す薬やα-グルコシダーゼ阻害薬のように糖の吸収を遅らせることによって食後の高血糖を抑える薬、またDPP-4阻害薬のように食事後の高血糖時だけ働く薬やSGLT2阻害薬のように尿中に糖の排泄を促す薬など患者さんの糖尿病の状態によって様々な薬が開発され、多くの患者さんに使用されています。

「糖(やく)立つ話」

「糖(やく)立つ話」

「糖(やく)立つ話」



平成27年4月から 診療を始めた科の紹介

■呼吸器外科

根津 賢司 科長

■肝臓・胆のう・膵臓外科

渡邊 常太 科長

■脳・血管外科

宇都宮 裕 科長

■形成外科

野澤 竜太 科長

市立宇和島病院 患者さまの権利

1. 良質で適切な医療を平等に受けることができます。
2. 自分の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
3. 医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択あるいは断ることができます。
4. 主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオンを利用することができます。
5. 自分の医療に関する記録などの情報について、開示を求めることができます。
6. 個人情報及びプライバシーは保護され、いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
7. 患者さまの診療・治療について当院の教育・研究にご協力をお願いする場合がありますが、これを断ることができます。
8. 病院に対し種々の提言をすることができます。

一年を振り返って

7 西病棟看護師 高橋 航平

私は県外の大学を卒業して市立病院に就職しました。看護学を共に学んだ友人も近くには居らず心細く、自分が看護師として働いていいのかとても不安でした。

実際に仕事が始まると何をやるにも時間がかかり、処置も記録も不十分なことが多く先輩方に迷惑ばかりかけていました。急性期病棟で患者様と向き合いながらも次々と処置をこなしていく看護師像を描いていたため何もできない自分にギャップを感じていました。一年を終えて今では少しずつ患者様の声も聴けるようになり、医師への報告もできるようになってきました。分からないことも多いですが先輩看護師に相談しながら仕事をしています。

まだまだ未熟な私ですが、一年を振り返ってみると一人で行える業務も増え、少しずつ自信も持てるようになりました。忙しく辛い日もありますが、患者様との関わりを大切に、正しい判断、処置ができる看護師を目指して努力していきたいです。



からだがよろこぶレシピ 鮭のごま味噌ホイル焼き



◎材料(2人分)

鮭の切り身…120g
 キャベツ……80g
 パプリカ……40g
 炒りごま…小さじ1
 みりん……小さじ1
 酒……………小さじ1
 味噌…小さじ1杯半

野菜を生で食べようとすると、量が多くて食べづらい…という方は多いと思います。今回は、主菜と一緒に野菜がたくさん摂れるホイル焼きを紹介します。季節によって野菜を変えたり、キノコを入れたり、他の魚にしてみたりとアレンジができます。

【1人分の栄養量】

エネルギー200kcal、たんぱく質14.3g、塩分0.8g

- ① キャベツを2cmの角切りにする。
- ② パプリカを細切りにする。
- ③ ごま、味噌、みりん、酒を混ぜ合わせる。
- ④ アルミホイルの上に鮭の切り身をのせ、混ぜ合わせた調味料を表面にぬり、キャベツ、パプリカをのせてアルミホイルを閉じる。
- ⑤ オープントースターに入れて250℃(予熱あり)で12～15分程度焼く。
- ⑥ 鮭の身まで火が通ったのを確認し、お皿に盛りつけ完成。

シリーズ
各科紹介
血液内科

血液内科は、科長 金子政彦、医長 鹿田久治、専攻医 丸田雅樹の3名で診療を行っております。診療領域は主に血液疾患、膠原病（こうげんびょう）、感染症に分かれています。

血液領域は白血病や悪性リンパ腫等の血液のがん以外にも、貧血や出血性疾患等の診療を行っております。南予地区は白血病の一種である、成人T細胞白血病の原因ウイルスであるヒトT細胞白血病ウイルスⅠ型を持つている人（キャリア）が多くいます。このウイルスは主に母乳を介して感染し、キャリアは日本全国に約120万人おり、そのうち年間700人が成人T細胞白血病を発症すると言われていています。60〜70歳での発症が多く、頸や腋の下やまたのつけねのしこりや、長期間続く湿疹等の症状で発見されることが多いです。このような症状が気になる方は医療機関を受診してください。

一方、血液のがんに対して抗がん剤治療を行うのみではなく、安全に治療が受けられるよう副作用対策にも全力で取り組んでおります。特に悪性リンパ腫に対しては、抗がん剤治療後に白血球減少が生じる期間を短くする治療法を臨床試験の形で研究しております。

膠原病領域では全身性エリテマトーデスを中心とした、全身の臓器

血液内科医長 鹿田 久治

を構成する細胞に異常な免疫が生じることで炎症がおきる病気を扱っております。ステロイドや免疫抑制剤と呼ばれる異常な免疫反応を抑える薬剤で治療を行っていきます。様々な副作用がありますが、安心して治療を受けられるよう努めております。感染症領域では近年、重症熱性血小板減少症候群と呼ばれるマダニに咬まれた後に発症するウイルス感染症の患者さまが増えてきております。当院は県下で最も診療件数が多くなっております。

初診の患者さまにはできるだけ時間をかけて説明しながら治療を行っております。これらのご病気でお困りの際はお気軽にお尋ねください。



左から鹿田先生、金子先生、丸田先生

平成27年8・9月糖尿病教室予定表

日程	演 題	担 当 者	医療スタッフの講義	担当部署
8月20日(木)	自分の糖尿病を把握しよう	研修医の先生	糖尿病に薬(ヤク)だつ話	薬局
8月27日(木)	最近の話題	内科 宮内省蔵先生	糖尿病食は健康食	食養科
9月 3日(木)	糖尿病と医療連携	山本健治MSW (医療福祉相談員)	合併症がでてしまったときの食事	食養科
9月10日(木)	糖尿病と病理	臨床検査科 中川健司技師長	共に学ぼう、糖尿病	看護部
9月17日(木)	糖尿病と整形外科疾患	整形外科岩川和弘先生	お散歩からはじめましょう	リハビリ

- 時間:午後2時より3時まで
- 場所:北棟(1階) 多目的栄養相談室
- ※講義内容は変更になることもあります。
- ※血糖値測定は毎回行います。
(午後1時30分頃から2時まで)
- ▼詳しくは食養科までお尋ね下さい。

◎27年の日程は以下の予定(すべて木曜日)ですが、内容は未定です。

[10月] 10/ 1、10/ 8、10/15
[11月] 11/ 5、11/19、11/26

※随時、広報うわじまや市立宇和島病院ホームページでお知らせいたします。

問い合わせ先

0895-25-1111(内線20010)
市立宇和島病院 食養科

発行/市立宇和島病院広報委員会
住所/〒798-8510 宇和島市御殿町1-1
TEL/0895-25-1111 FAX/0895-25-5334